

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

サイズはまだ小さく、初漁時期は5月初めか

—西島牧沖の漁期前調査結果—

中央水産試験場
後志地区水産技術普及指導所岩内支所

調査の概要

平成26年4月21日午後7～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を行いました。白糸岬沖から元町沖の6つの調査点で、集魚灯を用いて、たも網でコウナゴの採集を試みました。この調査は、第八喜久丸の中山雄一さん、島牧漁協および島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

漁期初めに漁獲対象となる群は現在14～16mm

調査日の海況は良好でしたが、採集できたコウナゴ標本は、原歌沖の1つの調査点での11尾のみでした。調査時の表面水温は、8.2～9.5℃（平均8.9℃）で、前年（平均7.1℃）よりも高くなっていました。

下図は、調査で採集されたコウナゴを測定して得られた体長組成です。今回の調査で採集されたコウナゴの体長は13～17mmで、主なサイズは14～16mmでした。この主なサイズのコウナゴが漁獲適正サイズ（22-23mm）に成長するのは、1日の推定成長量は0.7mm程度ですから、およそ10日後（5月1日）になります。したがって、本格的な漁期開始時期は、前年と同じく例年よりやや遅めの、5月初めと予想されます。

採集尾数が11尾と少なかったことと、20mm前後の大型魚が全く採集されなかったことから、漁期開始はもう少し遅れる可能性もあります。しかし、先週から水温が急に上昇しているため、4月末か5月初めに出漁し、分布状況を確認していただければと思います。第2報では、初漁期の漁獲物標本の測定結果についてお知らせする予定です。

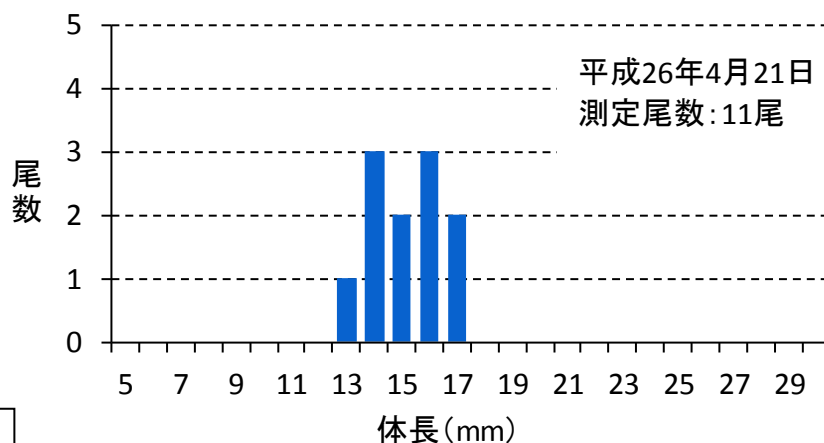


図 調査で得られた標本の体長組成

お問い合わせ
中央水試資源管理部:0135-23-8707
水産指導所岩内支所:0135-62-0087